

岐阜県 下呂温泉 飛騨川に佇む 100 帖空間の豊風呂物語の宿 小川屋

～朝ごはんフェスティバル(R)2014 全国 2 連覇を目指して～

和のおもてなしと医食同源を用いた新メニューにて頂上決戦に挑む！



当館「小川屋」(名称:株式会社小川屋、所在地:岐阜県下呂市湯之島 570、代表取締役:野村 勝)は、日本三名泉に数えられる下呂温泉のもと、60 年以上続く伝統のおもてなしと、飛騨川にたたずむ絶景のロケーション、100 帖空間の豊風呂でお客様に愛されて参りました。

この度、国内最大級の総合旅行予約サイト「楽天株式会社」主催の「朝ごはんフェスティバル(R)2014」頂上決戦が 9 月 2 日東京会場にて行われます。前回優勝の栄冠を頂き様々な方より温かいお声掛けを頂く中、旅館というサービスの本質を改めて考えさせられる機会を得ました。日本の誇れる技術「和のおもてなし」を 1 年間考え抜いた結果、身体に優しく食べやすいよう調理する日本料理の提供こそが小川屋のできる最高のおもてなしだという結論にたどり着き、和のおもてなしと医食同源を用いた新メニューにて 2 連覇を目指し参戦致します。

朝ごはんフェスティバルとは、楽天株式会社トラベル事業主催の朝ごはん日本一を決める大会。約 1000 施設の中から「Web 投票」で多くの【いいね！】を獲得した施設が全国 5 地区に分かれ「地方大会」に進み実食審査のうえ計 6 施設が「頂上決戦」に挑み「日本一の朝ごはん」を決定致します。頂上決戦の審査員には、料理の鉄人、神田川俊朗氏や中村孝明氏、料理研究家の浜内千波氏などが招かれています。

■参考 URL

楽天トラベル『朝ごはんフェスティバル 2014』

○特設ページ <http://travel.rakuten.co.jp/special/asafesta/index.html>

次ページ以降に、「朝ごはんフェスティバル(R)2014 頂上決戦」に出ます碌間専用の朝ごはんと、当館の概要説明しておりますので、合わせてご参照くださいませ。

スイートルーム『礫間』自慢の朝ごはん紹介



優勝の栄冠を頂き、様々な方より温かいお声掛けをいただきました。たくさんのお縁を頂く中、「おもてなし」に始まり、「和食」の世界無形文化遺産認定など、日本への関心が高まる中、改めて和のおもてなしとはなにかと考えさせられる機会を得ました。その結果、健康は食から始まります。身体に優しく食べやすいように調理する日本料理の基本を提供することこそが小川屋のできるおもてなしだという答えにたどりつき、すべてのお客様が安心して頂ける医食同源を用いた朝食をつくりました。また薬膳だけに留まらずお客様の朝の表情を想像してお献立を書き上げました。

薬膳粥



中医学理論に基づいた食養生である薬膳粥。疲労回復・滋養強壮・肝機能改善など薬用効果の高い鮑、タウリンやグリコーゲンが豊富で、疲れを癒す高機能食材である干し貝柱を筆頭に美肌効果の高い松の実、アンチエイジング効果のある枸杞の実など1日の生きる活力を養います。

鮎の一夜干



肉厚で程よく脂ののった飛騨川の鮎を一夜干しすることにより、鮎の旨みをギュッと閉じ込め、鮎本来の甘味と風味をご堪能いただけます。さらに茶香炉で温めることによりお茶の爽やかな香りがアロマ効果と相まって朝の柔らかな時間を演出します。



料理長
川向和美



■会社概要

会社名：株式会社 小川屋

所在地：岐阜県下呂市湯之島 570

客室数：96 室(最大収容人数 478 名)内バリアフリー客室 1 室あり

施設：宴会場・洋式宴会場・会議室・喫茶・お好みコーナー

ラウンジ・カラオケルーム・卓球上・麻雀室・エステルーム

足湯・貸切風呂・大浴場・露天風呂・売店

TEL：0576-25-3121

FAX：0576-25-3268

<ご取材にあたりまして>

■ご取材いただける場合は、担当：山崎までご連絡くださいませ。

■取材して頂ける場合は、読者・視聴者への宿泊プレゼントも検討させていただきます。

お気軽にお問い合わせくださいませ。宜しく願い致します

和みの豊風呂物語の宿

飛騨路 下呂温泉 小川屋

下呂温泉小川屋 担当：山崎までお願い致します。

TEL：(0576) 25-3121 FAX：(0576) 25-3268

Mail：y-yamasaki@gero-ogawaya.net